

# HP Cloud Service Automation

ソフトウェアバージョン: 4.50、2015年6月(英語版)

## リリースノート



## 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>3</b>
本バージョン .....	3
インストール要件.....	3
ドキュメント .....	3
サポート .....	3
<b>本リリースでの修正</b> .....	<b>4</b>
HP Cloud Service Automation .....	4
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール.....	4
クラウドサービス管理コンソール.....	4
マーケットプレイスポータル.....	5
オンラインヘルプ.....	6
HP CSA との統合 .....	6
HP Helion OpenStack® .....	6
<b>既知の問題、制限事項、回避方法</b> .....	<b>7</b>
HP Cloud Service Automation .....	7
ソリューション全般.....	7
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール.....	8
クラウドサービス管理コンソール.....	9
マーケットプレイスポータル.....	13
オンラインヘルプ.....	15

© Copyright 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P. The information contained herein is subject to change without notice. HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

権利の制限: 機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

OpenStack® Word Mark および Square O Design は、単独でも両方でも、OpenStack Foundation の米国およびその他の国における登録商標であり、OpenStack Foundation の許可を得て使用されています。

Oracle および Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

RED HAT READY™ ロゴと RED HAT CERTIFIED PARTNER™ ロゴは、Red Hat, Inc の商標です。

『インストールガイド』と『Upgrade Guide』 .....	16
HP CSA との統合 .....	16
HP Operations Orchestration (HP OO) .....	16
<b>廃止に関する注記.....</b>	<b>17</b>
サービスデザインとコンテンツパック .....	17

## はじめに

このリリースノートでは、HP Cloud Service Automation (HP CSA) のこのリリースで行われた変更内容について、マニュアルやオンラインヘルプには記載されていない重要な項目を説明します。

### 本バージョン

HP Cloud Service Automation (HP CSA) は、クラウドコンピューティング環境において、自動化されたサービスの提供および管理を目的とした HP 製品を統合するソフトウェアです。統合製品の詳細については、『HP Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。

HP Cloud Service Automation 環境が優れたパフォーマンスと安定性を発揮できるように、次のタスクを完了してからインストールを開始してください。

- 各コンポーネント製品でサポートされるハードウェアとソフトウェアが、インストールの最小要件を満たしていることを確認します。
- 関連パッチとパッチリリースのホットフィックスが、コンポーネント製品に適用済みであることを確認します。
- リリースノートで、各コンポーネント製品に追加の変更内容や制限事項がないか確認します。

### インストール要件

インストール要件については、『HP Software Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。HP Cloud Service Automation のインストールと構成の手順については、『HP Cloud Service Automation インストールガイド』を参照してください。

### ドキュメント

HP CSA のドキュメントとホワイトペーパーにアクセスするには、次の URL でサインインまたは登録を行います。

<https://softwaresupport.hp.com/>

ページ上部の検索機能を使用すると、ドキュメント、ホワイトペーパーなどの情報ソースを検索できます。カスタマーサポートサイトの使用方法の詳細については、次の URL にアクセスしてください。

[https://softwaresupport.hp.com/documents/10180/14684/HP\\_Software\\_Customer\\_Support\\_Handbook/](https://softwaresupport.hp.com/documents/10180/14684/HP_Software_Customer_Support_Handbook/)

### サポート

HP ソフトウェアサポート Web サイトを参照してください。

<https://softwaresupport.hp.com/>

カスタマーサポートサイトの使用方法の詳細については、次の URL にアクセスしてください。

[https://softwaresupport.hp.com/documents/10180/14684/HP\\_Software\\_Customer\\_Support\\_Handbook/](https://softwaresupport.hp.com/documents/10180/14684/HP_Software_Customer_Support_Handbook/)

## 本リリースでの修正

### HP Cloud Service Automation

#### インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

4.20 へのアップグレード後に、ConfigurationTool フォルダが%CSA\_HOME%\Tools 内に表示される

<b>ID</b>	QCCR1D192528
<b>問題</b>	HP CSA 4.20 へのアップグレード後に、ConfigurationTool フォルダが%CSA_HOME%\Tools の下に残っています。このツールはサポートされなくなったため、製品のアップグレード後に存在すべきではありません。

#### クラウドサービス管理コンソール

トポロジデザインで使用される測定可能プロパティに対して、リソース使用量のアカウントिंगが正しく機能しない

<b>ID</b>	QCCR1D193574
<b>問題</b>	トポロジデザインで使用される測定可能プロパティに対して、リソース使用量のアカウントिंगが正しく機能しないことがあります。特に、指定プロバイダタイプのどのプロバイダーにもリソースプールが構成されていない場合、リソースアカウントिंगは実行されず、そのプロバイダタイプのコンポーネントの測定可能プロパティの値を指定するトポロジデザインのプロビジョニングを継続できます。さらに、指定プロバイダタイプの一部のプロバイダーにリソースプールが含まれていても、他のプロバイダーに含まれていない場合、リソースアカウントिंगが正しく実行されないことがあります。

トポロジデザインのプロビジョニングが、「楽観的ロックが失敗しました」が含まれるエラーメッセージで失敗することがある

<b>ID</b>	QCCR1D193511
<b>問題</b>	トポロジデザインのプロビジョニングが、「楽観的ロックが失敗しました」が含まれるエラーメッセージで失敗することがあります。このような失敗が発生するのは、予約中または予約解除中のいずれかのライフサイクルフェーズです。このエラーは、プロビジョニング中に失敗したイベントを選択することで、クラウドサービス管理コンソールの[オペレーション]領域に表示されます。このようなエラーが発生するのは、測定可能プロパティがトポロジデザインで使用されている場合と、クラウドサービス管理コンソールの[プロバイダー]領域でリソースプロバイダーにリソースプールが構成されている場合のみです。

関係を削除しても、関係のマッピングが完全には削除されない

<b>ID</b>	QCCR1D192575
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールの[デザイン]/[トポロジ]/[コンポーネント]領域でコンポーネントから関係を削除しても、その関係の一部の情報は、そのコンポーネントのオペレーションパラメーターマッピング構成から完全には削除されません。そのため、関係を削除し、新しい関係を追加した後で、削除した関係を参照していたオペレーションのパラメーターマッピングを表示すると、予期しない動作が実行されることがあります。

大きな文字列値の場合、文字が足りないように見える

<b>ID</b>	QCCR1D186210
<b>問題</b>	Flash Player を使用するクラウドサービス管理コンソールの領域で、255 文字を超える大きな文字列値を表示すると、特定の文字が欠落しているように見えます。これが発生するのは、シーケンスデザインの[デザイナー]および[サブスクリバースオプション]タブ([デザイン]/[シーケンス]/[デザイナー])および[リソース提供]領域([デザイン]/[シーケンス]/[リソース提供])です。

## クラウドサービス管理コンソール内の一部の画像が、破損リンクとして表示される

<b>ID</b>	QCCR1D193024
<b>問題</b>	HP CSA で SiteMinder シングルサインオンが構成されている場合、クラウドサービス管理コンソール内の特定の画像が破損リンクとして表示されます。

## トポロジコンポーネントに対して[名前を付けて保存] ボタンを使用すると、エラーが発生する

<b>ID</b>	QCCR1D192919
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールの[デザイン]/[トポロジ]/[コンポーネント]領域で、[名前を付けて保存] ボタンを使用してトポロジコンポーネントを作成するときに、同じ名前の別のコンポーネントがすでに存在すると、次のエラーが表示されます。Internal server error occurred.Contact your system administrator." csa.log ファイルには、次のようなエントリが表示されます。 Caused by:java.sql.SQLException:Violation of UNIQUE KEY constraint 'UQ_CSA_TM_C_2F88FC4730441BD6'.Cannot insert duplicate key in object 'dbo.CSA_TM_COMPONENT_TYPE'.The duplicate key value is (AmazonServerType, com.hp.csa.type, 04.20.0000).

## マーケットプレイスポータル

利用可能リソースがリソースプールになかったことが原因で失敗したサブスクリプションが、リソースが利用可能になっても正しく再開しない

<b>ID</b>	QCCR1D193354
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールの[組織]領域で、組織に対して[サブスクリプションを一時停止にする]が構成されている場合、リソースプール内に利用可能なリソースがないために失敗したサブスクリプション要求は、必要なリソースがリソースプール内に回復した後でも正しく再開できません。サブスクリプションはマーケットプレイスポータルで[保留中]のままになり、管理コンソールの[オペレーション]領域でどのような再開操作を行ってもさらにエラーが発生し、プロビジョニングは一時停止されます。この問題は特に、サブスクリプションに基づくシーケンスデザインが、測定可能プロパティを使用し、リソースプールを必要とする場合に発生します。

サブスクリプションの単一選択リストプロパティが必須フィールドであっても、ユーザーはサブスクリプションを変更してそのリストプロパティの値を空にできる

<b>ID</b>	QCCR1D181903
<b>問題</b>	マーケットプレイスポータルでサブスクリプションを変更する場合、ユーザーは必須フィールドに空の値を指定できます(フィールドが単一選択リストプロパティの場合)。

オーダー時に選択したサブスクリプションのプロファイルや値が、マーケットプレイスポータルでサブスクリプションを初めて変更するときに表示されない

<b>ID</b>	QCCR1D193034
<b>問題</b>	トポロジデザインに基づいたサブスクリプションをマーケットプレイスポータルで変更する場合、サブスクリプションの初期オーダー時に選択したプロファイルや値が[サブスクリプションの詳細の変更]ページに表示されません。その後の変更操作では、前に選択したプロファイルと値が[サブスクリプションの詳細の変更]ページに表示されます。

## オンラインヘルプ

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプに、リソースプールはトポロジデザインに適用されないと記述されているが、これは間違っている

<b>ID</b>	QCCR1D192619
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプには、「リソースプールは、シーケンスデザインでのリソース割り当てに使用できます。トポロジデザインには使用できません。」と記述されていますが、この記述は間違っています。HP CSA 4.20 では、リソースプールをトポロジデザインに適用可能です。

## HP CSA との統合

### HP Helion OpenStack®

HP Helion OpenStack®デザインにルーターコンポーネントを含めるときのエラーメッセージ

<b>ID</b>	QCCR1D192489
<b>問題</b>	HP Helion OpenStack®トポロジデザインにルーターコンポーネントを含めるときに、[ルーター] プロパティ値が[新規ルーターの作成]に設定され、そのプロパティの[サービスの作成中に変更可能]がオンになっていると、保存時に次のようなわかりにくいエラーメッセージが表示されます。「新規ルーターの作成は、高速デザインでは許可されていません。」これはデザインが高速デザインとして作成されなかった場合に表示されるメッセージです。

トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®ルーターを作成できない

<b>ID</b>	QCCR1D186549
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールでトポロジデザインを作成する際に、[高速] デザインオプションを[はい]に設定し、ルーターコンポーネントの[ルーター] プロパティを[新規ルーターの作成]に設定し、[サービスの作成中に変更可能] プロパティを選択すると、そのトポロジデザインを保存しようとしたときに次のエラーが発生します。「新規ルーターの作成は、高速デザインでは許可されていません。リソース"ルーター"に対して既存のルーターを選択してください。」 [サービスの作成中に変更可能] の選択を解除すると、デザインを保存できるようになりますが、発行することはまだできません。次のエラーが発生します。「次のエラーのために発行が失敗しました: プロパティ "ルーター.ルーター" は変更可能に設定する必要があります。」

## 既知の問題、制限事項、回避方法

### HP Cloud Service Automation

#### ソリューション全般

OpenStack デザインをベースにするサービス提供を選択すると、マーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示される

<b>ID</b>	QCCR1D208288
<b>問題</b>	プロバイダーツール (%CSA_HOME%\Tools\ProviderTool 内) を使用すると、既存の OpenStack プロバイダーから必須プロパティでも削除することが可能です。削除してしまうと、OpenStack デザインをベースにするサービス提供を選択したときに、マーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示されます。ブルースクリーンが表示されるのは、サービス提供が1つまたは複数の環境を含むカタログに関連付けられていて、環境の1つがこのプロバイダーを含む場合のみです。
<b>原因</b>	<p>プロバイダーツールは、プロバイダー上にあるプロパティをすべて削除してから、プロバイダー情報 XML ファイルで指定されているプロパティに基づいてプロパティを新規作成します。OpenStack プロバイダーでは、必須構成情報の一部が非表示プロパティに保存されています。このプロパティを含めない状態でプロバイダーツールを実行すると、そのプロバイダーは HP CSA で使用できなくなり、マーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示されます。</p> <p>OpenStack プロバイダーでは、この非表示プロパティは domain、keystoneConfigurationID、project、useDomainScopedTokenForTransportUser に格納されています。project プロパティ以外は必須であり、OpenStack プロバイダーで定義しないとマーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示されます。</p>
<b>回避方法</b>	<p>プロバイダーツールを使って既存の OpenStack プロバイダーを更新する場合は、まず読み取り操作によってプロバイダー上にあるプロパティをすべて取得してから、更新を実行してください。これにより、必須プロパティが削除されることはありません。</p> <p>MS SQL データベースを例に説明します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>OpenStack プロバイダータイプでプロバイダーツールを実行します。       <pre>a. %CSA_HOME%\Tools\ProviderTool&gt;java -jar provider-tool.jar       -a read -c config.properties.mssql -t OPENSTACK</pre> </li> <li>更新で作成される provider_out.xml を編集します。provider_out.xml に含まれている domain、keystoneConfigurationID、project、useDomainScopedTokenForTransportUser の各プロパティを削除しないようにしてください。</li> <li>プロバイダーツールを再度実行してプロバイダーを更新します。       <pre>a. %CSA_HOME%\Tools\ProviderTool&gt;java -jar provider-tool.jar       -a update -c config.properties.mssql -p provider_out.xml</pre> </li> </ol> <p>OpenStack プロバイダーでプロバイダーツールを実行すると、domain、keystoneConfigurationID、project、useDomainScopedTokenForTransportUser がプロバイダーの [プロパティ] タブに表示されます。これらのプロパティは表示されるべきではありませんが、プロバイダーは動作を続け、マーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示されるエラーは発生しなくなります。</p>

## インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

マーケットプレイスポータルユーザーが、パートナーポータルリンクを使って他の HP 製品にアクセスしようとする、インストール時に HP SSO を有効にした場合でも、製品のログイン画面にリダイレクトされる

<b>ID</b>	QCCR1D208828
<b>問題</b>	CSA インストーラーで <b>[HP SSO の有効化]</b> を選択しても、IDM 内の構成ファイルは自動的に HP SSO 向けの構成になりません。その結果、マーケットプレイスポータルで HP SSO の統合は正常に動作しなくなります。マーケットプレイスポータルユーザーが、パートナーポータルリンクを使って他の HP 製品にアクセスしようとする、製品のログイン画面にリダイレクトされます。
<b>原因</b>	インストールの不具合です。
<b>回避方法</b>	IDM で HP SSO を構成する方法については、『HP CSA Configuration Guide』を参照してください。特に、HP SSO の構成には次の 4 ファイルを手動で構成する必要があります。詳細については、『HP CSA Configuration Guide』を参照してください。 <pre>%CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/web.xml %CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/hpsssoConfig.xml %CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/spring/applicationContext-security.xml %CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/spring/applicationContext-v0.xml</pre>

### SchemalnstallationTool の実行時にエラーが発生する

<b>ID</b>	QCCR1D207836
<b>問題</b>	HP CSA で使用するデータベースとして Oracle を選択した状態で SchemalnstallationTool (%CSA_HOME%\Tools\SchemaInstallationTool ディレクトリ) を実行すると、次の例外が発生します (メッセージの正確なパスは、HP CSA のインストール時に指定したパスによって異なります)。 <pre>"C:\Program Files\Hewlett-Packard\CSA\jboss-as\modules\com\oracle\ojdbc7\main does not exist."</pre>
<b>原因</b>	SchemalnstallationTool の db.properties ファイルでは、Oracle JDBC ドライバーが %CSA_HOME%\jboss-as\modules\com\oracle\ojdbc7\main ディレクトリに格納されていることが前提になります。Oracle のインストールに ojdbc6.jar ドライバーを指定すると、パスが誤って設定されます。
<b>回避方法</b>	jdbcDriverDir プロパティの値 (%CSA_HOME%\Tools\SchemaInstallationTool\db.properties ファイル内) を編集します。'ojdbc7' を 'ojdbc6' に変更してください。ディレクトリ %CSA_HOME%\jboss-as\modules\com\oracle\ojdbc6\main が存在し、JDBC ドライバー jar が格納されていることを確認してください。

### HP CSA をアンインストールすると、HP Operations Orchestration コンポーネントもアンインストールされる

<b>ID</b>	QCCR1D207598
<b>問題</b>	HP CSA のインストールに埋め込み HP OO を使用し、HP OO コンポーネント (HP OO Studio など) を埋め込み HP OO と同じシステムの同じ場所に追加でインストールする場合、HP CSA をアンインストールすると他の HP OO コンポーネントもアンインストールされます。
<b>原因</b>	インストールの不具合です。
<b>回避方法</b>	HP OO Studio を、埋め込み HP OO がある HP CSA と同じシステム上にインストールする場合、HP OO Studio をデフォルトパス (C:\OOStudio など) 以外のパスにインストールします。これにより、HP CSA をアンインストールしても HP OO Studio がアンインストールされることはなくなります。HP OO Studio を埋め込み HP OO と同じ場所 (デフォルトは C:\Program Files\Hewlett-Packard\HP Operations Orchestration) にすでにインストールしている場合は、必要な HP OO コンテンツをバックアップしてから HP CSA をアンインストールします。HP CSA のアンインストール後、必要に応じて HP OO Studio を再インストールします。



HP SSO を CAC 環境で有効にすると、クラウドサービス管理コンソールからログアウトしても、HP CSA で HP SSO が設定されている他のアプリケーションからログアウトされない

<b>ID</b>	QCCR1D203795
<b>問題</b>	HP Single Sign-On (HP SSO) を CAC 環境で有効にしている場合、クラウドサービス管理コンソールからログアウトしても、HP CSA で HP SSO が設定されているアプリケーション (HP Operations Orchestration など) からログアウトされません。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	HP SSO および CAC 環境では、クラウドサービス管理コンソールからログアウトした後、HP SSO が有効な他のすべてのアプリケーションから手動でログアウトしてください。また、ブラウザを再起動し、終了時に Cookie を削除するようにブラウザを設定することも可能です。

## クラウドサービス管理コンソール

マーケットプレイスポータルで 'propertyName' という名前のパラメーターのプロパティ値が表示されない

<b>ID</b>	QCCR1D208830
<b>問題</b>	[動的クエリリスト] サブスクリバードプションプロパティが含まれるシーケンスデザインに、'propertyName' という名前のパラメーターを渡す HTTP 要求本文が含まれている場合、マーケットプレイスポータルのサブスクライターのこのプロパティの解決済みの値が表示されません。
<b>原因</b>	'propertyName' という名前は、CSA の予約済みキーワードと競合しています。
<b>回避方法</b>	(HTTP 要求本文と、HTTP 要求本文を渡す JSP 内の) プロパティの名前を 'propertyName' 以外の名前に変更します。

OpenStack ベースのトポロジデザインに関連する要求について、マーケットプレイスポータルで [要求の詳細] を開くと、ブルースクリーンが表示される

<b>ID</b>	QCCR1D205242
<b>問題</b>	OpenStack ベースのトポロジデザインに関連する要求について、マーケットプレイスポータルで [要求の詳細] を開くと、ブルースクリーンが表示されることがあります。この状況が発生するのは、OpenStack ベースのトポロジデザインが、[動的入力] に設定された [リスト] サブスクリバードプションプロパティを使用しており、OpenStack プロバイダーが以下の回避方法のように構成されていない場合のみです。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	クラウドサービス管理コンソールの [プロバイダー] 領域で作成した OpenStack プロバイダーは、すべて同じ設定にする必要があります。設定が異なると、[要求の詳細] でエラーが発生します。さらに、各プロバイダーの作成で、[プロジェクト] の値を指定してください。この値は、マーケットプレイスポータルで [要求の詳細] を表示する際に使用されます。[要求の詳細] に正しい情報が表示されるようにするには、各 OpenStack プロバイダーのプロジェクトをすべて同じ構成にしてください。

Red Hat Enterprise Linux 環境の HP CSA で、トポロジコンポーネントのインポートが失敗することがある

<b>ID</b>	QCCR1D206721
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域で HP Server Automation のインポートソースを使ってトポロジコンポーネントをインポートしようとすると、Red Hat Enterprise Linux 環境の HP CSA でインポートが失敗することがあります。次のようなメッセージが csa.log に表示されます。 SaClient :Json file created for policy list not found./tmp/policyTmp_1609896274.json
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	HP CSA サービスを再起動し、インポートを再実行します。

トポロジデザインの [サブスクリバードプション] タブを開き、[動的エントリリスト] プロパティで [データの更新] アイコンをクリックすると、結果が表示されないか、JSP が見つからないというエラーメッセージが表示される

<b>ID</b>	QCCR1D208116
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域で、デザインの [サブスクリバードプション] タブを開き、[動的エントリリスト] プロパティで [データの更新] アイコンをクリックすると、結果が表示されないか、JSP が見つからないというエラーメッセージが表示されます。これは、デザインの提供のサブスクリバードプション時にサブスクリバードプションが適切な値を取得を選択できるように、OpenStack デザインで JSP を使用して OpenStack プロバイダーから値 (フレーバー、画像、サブネットなど) を取得している場合に、特に問題となります。OpenStack プロバイダーが定義されていない場合や、定義されていても応答が遅い場合、[データの更新] をクリックしても結果が表示されません。プロバイダーが定義されていても設定に誤りがあると、JSP が見つからないというエラーメッセージが表示されます。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	[動的エントリリスト] サブスクリバードプションプロパティが JSP を使用してプロバイダーから結果を取得している場合、[データの更新] をクリックするときに、適切なプロバイダートイプの少なくとも 1 つのプロバイダーが正しく設定されていることを確認してください。

カタログ、サービス提供、サービスデザインを含むコンテンツアーカイブのインポートに時間がかかる

<b>ID</b>	QCCR1D207330
<b>問題</b>	カタログ、サービス提供、サービスデザインを含むコンテンツアーカイブをインポートする場合、ベースとなるサービスデザインのリソース提供が複数のサービスデザイン (10 個以上) に共有されていると、インポートに時間がかかることがあります。同じように、システム上にコンテンツアーカイブからの同じサービスデザインをベースにする複数のサービス提供が存在するときも、インポート操作に時間がかかることがあります。
<b>原因</b>	インポートが完了すると、リソース提供、サービスデザイン、およびサービス提供と、システム内の他の上位レベルのアーティファクトとの関係を示すレポートが生成されます。たとえば、コンテンツアーカイブからインポートされたリソース提供に関連付けられているサービスデザイン、これらのサービスデザインに関連付けられているサービス提供、これらのサービス提供に関連付けられているカタログエントリがすべてレポートに表示されます。 このレポートの生成はリソースを大量に消費するため、インポートの処理速度が低下します。
<b>回避方法</b>	レポートでこの情報が不要な場合は、csa.properties ファイル (%CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/csa.war/WEB-INF/classes) を編集し、com.hp.csa.import.BUILD_ARTIFACT_RELATIONSHIP を 'false' に設定します。変更後、Cloud Service Automation サービスを再起動します。

サービスデザインの削除が失敗し、内部サーバーエラーメッセージが表示される

<b>ID</b>	QCCR1D207655
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールでシーケンスサービスデザインを削除する場合、そのデザインに関連付けられたアクティブまたは失敗のサブスクリプションが存在すると、削除は失敗して内部サーバーエラーメッセージが表示されます。
<b>原因</b>	製品の不具合です。削除できないのは意図的に禁止されているためですが、それを明確に示すメッセージを表示する必要があります。
<b>回避方法</b>	デザインで作成されたサブスクリプションをすべてキャンセルすると、デザインを削除できるようになります。

編集可能な [整数] サブスクリバードプションプロパティで [値の範囲] を設定する場合、最大値を入力しようとしても、最小値より大きな値に自動的に修正されてしまう

<b>ID</b>	QCCR1D207730
<b>問題</b>	編集可能な [整数] サブスクリバードプションプロパティで [値の範囲] を設定する場合、最大値を入力しようとしても、最小値より大きな値に自動的に修正されてしまうため、正しい値を設定できない場合があります。たとえば、最小値を 10 に設定した後で最大値を 60 に設定しようとする、60 を入力したつもりでも最大値は 100 になってしまいます。これは、6 を入力した時点でこの 6 が自動的に

	10 に変換されてしまうためです。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	[整数] の [値の範囲] を指定するには、まず最小値に 0 を入力し、最大値を入力してから、最小値を入力し直します。

前の操作が完了する前に次の操作を実行すると、[トポロジデザイン] タブでエラーが発生する

<b>ID</b>	QCCR1D208472
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域で、前の操作が完了する前に次の操作を実行すると、[デザイン] タブでエラーが発生することがあります。たとえば、キャンバス上でコンポーネントを変更した直後に、[グループの管理] ダイアログボックスで操作を始めると、「バッチ更新で予期しない行数が返されました」というエラーメッセージが表示されます。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	エラーメッセージを無視してトポロジデザインの編集を続けてください。

サービス提供をカタログに発行すると、警告メッセージが誤って表示される

<b>ID</b>	QCCR1D208075
<b>問題</b>	サービス提供をカタログに発行する場合、次の条件が両方とも満たされると、警告メッセージが誤って表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス提供が、プロバイダタイプが関連付けられていないコンポーネントを含むトポロジデザインから作成されている。</li> <li>カタログが、1 つまたは複数の空でない環境に関連付けられている。</li> </ul> この場合、次の警告メッセージが表示されます。「プロバイダー null (トポロジデザイン <デザイン名> に必要) に、カタログ <カタログ名> に関連付けられたリソース環境がありません。」
<b>原因</b>	製品の不具合です。発行時に、デザイン内のコンポーネントをプロビジョニングできるプロバイダーの有無がチェックされますが、プロバイダタイプが関連付けられていないコンポーネントのチェックが正しく行われていません。
<b>回避方法</b>	この警告メッセージは無視してください。警告メッセージが表示されても、提供は問題なく発行されます。

[名前を付けて保存] ボタンでデザインをコピーすると、ソースデザインに関連付けられているタグがコピーされない

<b>ID</b>	QCCR1D206870
<b>問題</b>	トポロジデザインまたはシーケンスデザインを [名前を付けて保存] ボタンを使ってコピーすると、ソースデザインに関連付けられているタグが、新しく作成したデザインにコピーされません。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	[名前を付けて保存] 操作が完了したら、新しく作成したデザインに適切なタグを選択します。

キャンセル承認が必要なサブスクリプションのキャンセルステータスが、承認が与えられるまで [オペレーション] 領域に反映されない

<b>ID</b>	QCCR1D192793
<b>問題</b>	キャンセル承認が必要なサブスクリプションのキャンセルステータスは、承認が与えられるまでクラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域に反映されません。その状態で [キャンセル] ボタンを繰り返しクリックすると、キャンセルしようとするたびに、承認要求が重複して不必要に作成されます。
<b>原因</b>	製品の制限です。
<b>回避方法</b>	クラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域でサブスクリプションをキャンセルしたら、状態がすぐに変化しなくても、[キャンセル] を再度クリックしないでください。キャンセルの承認が必要なサブスクリプションの場合、状態が変化するのは承認が行われてからだということに注意してください。

## トポロジコンポーネントのブール値および整数のプロパティが、Chef 属性に正しくマッピングされない

<b>ID</b>	QCCR1D187711
<b>問題</b>	Chef からインポートされるトポロジコンポーネントには、そのデプロイオペレーションに属性パラメーターが含まれており、Chef レシピのプロビジョニングをカスタマイズできます。属性パラメーターで渡されたプロパティは、自動的に文字列に変換されます。たとえば、整数のコンポーネントプロパティ 3306 は "3306" に変換され、ブール値のコンポーネントプロパティ true は "true" に変換されます。Chef レシピが、文字列ではなく整数またはブール値の入力を想定して作成されていると、コンポーネントのプロビジョニングは失敗します。
<b>原因</b>	製品の制限です。
<b>回避方法</b>	文字列入力を受け取るように、Chef レシピを作成または変更します。

## サービス提供にスクリーンショット画像を添付する際にエラーが発生する

<b>ID</b>	QCCR1D176173
<b>問題</b>	HP CSA が OpenJRE を使用するように構成されている場合に、クラウドサービス管理コンソールでサービス提供にスクリーンショット画像を添付しようとする、特定の .jpeg 画像で失敗することがあります。
<b>原因</b>	HP Cloud Service Automation に付属する OpenJRE のバージョンの不具合であり、特定の .jpeg 画像ファイルでのみ発生します。
<b>回避方法</b>	サービス提供にスクリーンショット画像を添付しようとしてエラーになる場合は、画像ファイルを .png などの別のサポートされる画像形式に変換し、新しい画像をサービス提供に添付してください。

## クラウドサービス管理コンソールにログインするのに 2 回の試行が必要

<b>ID</b>	QCCR1D185405
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールにログインするのに 2 回の試行が必要な場合があります。
<b>原因</b>	製品の不具合であり、クラウドサービス管理コンソールからログアウトせずにブラウザタブを閉じる場合に関連していると思われます。
<b>回避方法</b>	セッションを終了する際は、クラウドサービス管理コンソールからログアウトしてください。最初のログイン試行が失敗した場合は、もう一度ログインしてください。

## インポートされたトポロジコンポーネントで、複数選択の入力プロパティの値リストが提示されない

<b>ID</b>	QCCR1D186068
<b>問題</b>	HP Operations Orchestration フローをクラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域にインポートする際、そのフローに [種類] の値が [値のリスト] で [タイプ] の値が [ユーザーへのプロンプト (選択リストから)] の入力プロパティが含まれている場合、最終的に HP CSA にインポートされるコンポーネントでは、この入力プロパティに対してタイプが [文字列] のプロパティ値が設定されます。1 つ以上の値を選択できる値リストの代わりに、[コンポーネント] と [デザイナー] の両方の領域では、単一のテキスト入力がこのプロパティのユーザーに提示されます。
<b>原因</b>	クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] と [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域には、このような複数選択のプロパティに対する正常なサポートがありません。
<b>回避方法</b>	このようなプロパティのテキスト入力では、フローが <b>入力プロパティ</b> の解析に使用する方法で区切られた適切な区切り文字を使用して、プロパティ値をエンコードします。フローが HP Operations Orchestration の Base コンテンツパックで提供されるデフォルトの「Selection List Iterate」オペレーションを使用している場合、区切り文字 (セパレーター) は構成可能であり、デフォルトは「 」になります。たとえば、'red', 'green', 'blue' という複数の値は、デフォルトのセパレーター値で「Selection List Iterate」オペレーションを使用する場合、'red green blue' (引用符なし) のように指定します。

## マーケットプレイスポータル

[提供管理] または [カタログ管理] 領域に表示される数が、提供やカタログの数を正しく示していない場合がある

<b>ID</b>	QCCR1D205444
<b>問題</b>	コンシューマー組織の管理者としてマーケットプレイスポータルにログインすると、[提供管理] 領域の提供の数または [カタログ管理] 領域のカタログの数が正しく表示されないことがあります。表示されている提供またはカタログの数よりも大きな値が表示されます。さらに、提供またはカタログのリストをスクロールすると、アイテムが重複して表示されることがあります。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	この数は無視し、アイテムが重複して表示されることがある点に注意してください。

デフォルトのカタログを削除しようとする、「503 - サーバー上で問題が発生しました」というエラーメッセージが表示される

<b>ID</b>	QCCR1D204864
<b>問題</b>	マーケットプレイスポータルにコンシューマー組織の管理者としてログインし、デフォルトのカタログを削除しようとする、「503 - サーバー上で問題が発生しました」というメッセージが表示されます。
<b>原因</b>	組織のデフォルトとして作成されているカタログは削除できません。ただし、表示されるエラーメッセージからは、削除できない理由がわかりません。
<b>回避方法</b>	エラーは無視してください。また、デフォルトのカタログは削除しないでください。

マーケットプレイスポータルで要求の [要求の詳細] ページにある [価格内訳] を展開した場合、[複数選択] サブスクリバードプションの [リスト] プロパティでサブスクリバードプションが複数の値を選択しているにもかかわらず、選択した値の一部が表示されないことがある

<b>ID</b>	QCCR1D207264
<b>問題</b>	マーケットプレイスポータルで要求の [要求の詳細] ページにある [価格内訳] を展開した場合、[複数選択] サブスクリバードプションの [リスト] プロパティでサブスクリバードプションが複数の値を選択しているにもかかわらず、選択した値の一部が表示されないことがあります。
<b>原因</b>	[複数選択] サブスクリバードプションの [リスト] プロパティでユーザーが選択した内容は無効なコントロールに表示され、スクロールできないためすべての値を表示することができません。
<b>回避方法</b>	サブスクリプション要求が正常に完了し、サブスクリプションがアクティブになった後で、[サブスクリプションの詳細] ページを開いて [サブスクリプションの変更] をクリックします。このビューではユーザーが選択した項目がすべて表示されます。

サブスクリバードプションが [任意の環境] または [この環境内の任意のプロバイダー] を選択すると、トポロジデザインが正常にプロビジョニングされない

<b>ID</b>	QCCR1D208045
<b>問題</b>	マーケットプレイスポータルでサブスクリバードプションが、特定のプロバイダードプションタイプに設定されている [環境およびプロバイダードプション] オプションで [任意の環境] オプションを選択するか、特定の環境を選択してから [この環境内の任意のプロバイダー] を選択すると、特定のタイプのトポロジデザインが正常にプロビジョニングされません。特に、トポロジデザインに [リスト] サブスクリバードプションプロパティが含まれ、これが [動的エントリ] に設定されている場合や、[リスト] プロパティで選択した JSP がプロバイダーから情報を取得する場合に、デザインのプロビジョニングが失敗する可能性があります。たとえば、OpenStack ベースのデザインが、 <code>csa-openstack</code> で始まる JSP を使用するよう設定されている場合、サブスクリバードプションが [任意の環境] または [この環境内の任意のプロバイダー] を選択すると、正常にプロビジョニングされないことがあります。
<b>原因</b>	サブスクリバードプションが選択する値の取得に JSP を使用する場合、一貫した方法で動作させるためには、選択した特定のプロバイダーの情報が必要になります。[任意の環境] または [この環境内の任意のプロバイダー] を選択すると、JSP がサブスクリバードプションに選択リストを返すためにアクセスするプロバイダーと、プロビジョニング時に実際に選択されるプロバイダーが異なる可能性があります。

<b>回避方法</b>	<p>次のいずれかを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上記の方法で設定されているトポロジデザインをベースにしたサービス提供のサブスクリプションを要求する際には、[任意の環境]または[この環境内の任意のプロバイダー]を選択しないようにサブスクリャイバーに指示します。</li> <li>2. 設定するプロバイダーインスタンスを 1 つのみに限定します (たとえば、上記の例では OpenStack)。これにより、[任意の環境]または[この環境内の任意のプロバイダー]をサブスクリャイバーが選択しても、JSP がアクセスするプロバイダーと同じプロバイダーがプロビジョニング時に選択されるようになります。ただし、一部のプロバイダータイプにはさらに制約があります。たとえば、1 つの OpenStack プロバイダーを使用する場合は、サブスクリャイバーがアクセスできるプロジェクトがすべて同じ設定になるように追加の作業を行う必要があります。</li> <li>3. 同じタイプのプロバイダーインスタンスは完全に同一な設定にします (さらに、OpenStack に関する上記の制約も考慮する必要があります)。これにより、JSP が返す結果が、後でプロビジョニング時に選択されるプロバイダーに左右されなくなります。多くの場合、このオプションは現実的でない可能性があります。</li> </ol>
-------------	--

OpenStack ベースのトポロジデザインをベースにしたサービス提供について、マーケットプレイスポータルで [リスト] プロパティ値が再生成されない

<b>ID</b>	QCCR1D205979
<b>問題</b>	[動的エントリー] サブスクリプションオプションの [リスト] プロパティを使用して、サブスクリャイバーが選択できるプロバイダー固有の値を取得している OpenStack ベースのトポロジデザインがあり、これをベースにしたサービス提供のサブスクリプションをマーケットプレイスポータルでオーダーする場合、サブスクリャイバーが環境やプロバイダーを選択したときに値リストが正しく再生成されないことがあります。たとえば、ある OpenStack プロバイダーを選択した後、これを [任意の環境] に変更してから、同じプロバイダーをまた選択すると、[リスト] プロパティ値が再生成されないことがあります。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	サービス提供で選択可能な OpenStack プロバイダーが複数ある場合、選択したプロバイダーを一時的に変更することで、リスト値の再計算をトリガーします。選択できる OpenStack プロバイダーが 1 つのみの場合は、サブスクリプション要求プロセスをもう一度開始し、プロバイダーを選択した後に [任意の環境] を選択しないようにします。

サブスクリャイバーオプションプロパティ間で循環的な依存関係があるデザインのサービス提供は、カタログに発行することは可能でも、マーケットプレイスポータルで提供に対してブルースクリーンが表示される

<b>ID</b>	QCCR1D208513
<b>問題</b>	サブスクリャイバーオプションプロパティ間で循環的な依存関係があるデザインのサービス提供は、カタログに発行することは可能ですが、マーケットプレイスポータルで提供に対してブルースクリーンが表示されます。たとえば、シーケンスデザインに [リスト] サブスクリャイバーオプションプロパティが存在し、[動的クエリ] (名前は <code>propertyOne</code> ) に設定され、[CLIENT:propertyTwo] を含む HTTP 要求本文を指定している場合、さらに別のサブスクリャイバーオプションのプロパティ (名前は <code>propertyTwo</code> ) で [CLIENT:propertyOne] を含む HTTP 要求本文を指定していると、循環的な依存関係が発生するので、このデザインをベースにしたサービス提供を発行するとマーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示されます。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	デザインでサブスクリャイバーオプションを設定する際には、循環的な依存関係が発生しないように注意してください。

OpenStack ベースのトポロジデザインに関連する要求について、マーケットプレイスポータルで [要求の詳細] を開くと、ブルースクリーンが表示される

<b>ID</b>	QCCR1D205242
<b>問題</b>	OpenStack ベースのトポロジデザインに関連する要求について、マーケットプレイスポータルで [要求の詳細] を開くと、ブルースクリーンが表示されることがあります。この状況が発生するのは、OpenStack ベースのトポロジデザインが、[動的入力] に設定された [リスト] サブスクリャイバーオプションプロパティを使用しており、クラウドサービス管理コンソールの [プロバイダー] 領域で複数の OpenStack プロバイダーが設定されている場合のみです。

<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	次のいずれかを行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドサービス管理コンソールの[プロバイダー]領域で OpenStack プロバイダーを 1 つ構成します。</li> <li>または</li> <li>OpenStack ベースのトポロジデザイン用のサービス提供を含むカタログに関連付けられた環境には、OpenStack プロバイダーを 1 つだけ関連付けます。</li> </ul>

クラウドサービス管理コンソールの [ポータルのカスタマイズ] セクションで、[著作権] に数値のみを入力すると、コンシューマー組織のマーケットプレイスポータルのログイン画面に、アプリケーション名、ようこそメッセージ、著作権情報が表示されなくなる

<b>ID</b>	QCCR1D206962
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールの [組織] タイルで、コンシューマー組織の [ポータルのカスタマイズ] 領域の [著作権] に数値のみ (2015 など) を入力すると、コンシューマー組織のマーケットプレイスポータルのログイン画面に、アプリケーション名、ようこそメッセージ、著作権情報が表示されなくなります。
<b>原因</b>	製品の不具合です。
<b>回避方法</b>	[著作権] には、数字以外の文字を 1 つ以上入力してください ('Copyright 2015' など)。

## オンラインヘルプ

クラウドサービス管理コンソール [クラウドオプティマイザー] タイルについての説明がクラウドサービス管理コンソールのヘルプにない

<b>ID</b>	QCCR1D207149
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソール [クラウドオプティマイザー] タイルについての説明がクラウドサービス管理コンソールのヘルプにありません。
<b>原因</b>	このタイルは、ドキュメントの完成後に追加されました。
<b>回避方法</b>	[クラウドオプティマイザー] タイルの説明を次に示します。 HP Virtualization Performance Viewer (HP vPV) は、Web ベースの分析および表示ツールであり、仮想化環境内の各種要素のパフォーマンストレンドを分析します。HP vPV を HP CSA と統合すると、仮想化インフラストラクチャーのパフォーマンスの監視、容量や使用状況の分析、トレンドの予測を実行できます。 クラウドサービス管理コンソールでは、HP vPV の製品 Web ページの起動時にデフォルトで [クラウドオプティマイザー] タイルが表示されます。[クラウドオプティマイザー] タイルを構成して、HP vPV ダッシュボードを起動するように設定できます。使用する HP CSA 環境で HP vPV を有効にする方法の詳細については、『HP Cloud Service Automation Configuration Guide』を参照してください。

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプに、有効なトポロジコンポーネントのインポートソースのうち 2 つに関する記述がない

<b>ID</b>	QCCR1D207152
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールのヘルプに、有効なトポロジコンポーネントのインポートソースのうち 2 つに関する記述がありません。HP Insight Control サーバードプロビジョニングと HP OneView は、トポロジコンポーネントでサポートされているインポートソースです。
<b>原因</b>	ドキュメントの不具合です。
<b>回避方法</b>	トポロジコンポーネントのインポートでは、上記の 2 つのインポートソースもある点に注意してください。

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプで、「マイクロサービスデザイン」を使用すべき箇所「インフラストラクチャーデザイン」が使用されている

<b>ID</b>	QCCR1D207239
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールのヘルプでは、部分デザイン内の機能のニーズを満たす具体的なデザインを示す用語として、「インフラストラクチャーデザイン」が使用されています。「インフラストラクチャーデザイン」という用語はクラウドサービス管理コンソールでは現在使用されていません。部分デザイン内にある特定の機能のニーズを満たす具現デザインには現在、「マイクロサービスデザイン」という用語が使用されています。 <b>テスト実行</b> 操作中にマイクロサービスデザインを選択する操作は、[テスト実行]ウィザードの[デザイン構成]ステップで行うようになりました。
<b>原因</b>	クラウドサービス管理コンソールのヘルプの作成後に製品の用語が変更されました。
<b>回避方法</b>	部分デザインのテスト実行では、用語が変更されていることに注意してください。

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプには、発行済みサービスデザインの発行解除ができないという誤った記述がある

<b>ID</b>	QCCR1D207385
<b>問題</b>	クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプには、発行済みサービスデザインの発行解除ができないという誤った記述があります。発行済みのデザインは、デザインにサービス提供が存在しないという条件と、トポロジデザインにアクティブなサブスクリプションが存在しないという条件を満たせば、発行解除が可能です。
<b>原因</b>	発行解除は、クラウドサービス管理コンソールのヘルプ作成後にサポートされるようになりました。
<b>回避方法</b>	クラウドサービス管理コンソールのヘルプにある、デザインの発行解除に関する説明は無視してください。

## 『インストールガイド』と『Upgrade Guide』

生成した PDF の書式の問題

<b>ID</b>	なし
<b>問題</b>	インストールおよびアップグレードガイド PDF を生成すると、次のような問題が発生します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>改ページで表の行が分割される場合、行の最初の列が、次の行の最初の列と結合されます。</li> <li>例のテキストが右マージンで切り捨てられます。</li> <li>テキストが行末で文字化けします。</li> <li>ドキュメント内にある他のセクションへのリンクが破損しています。</li> <li>コンテンツに埋め込まれたアイコンが表示されないことがあります。</li> </ul>
<b>原因</b>	ドキュメントの制限
<b>回避方法</b>	インストールおよびアップグレードガイドの内容は、印刷ではなく Web ブラウザーで表示してください。

## HP CSA との統合

### HP Operations Orchestration (HP 00)

Linux システム上でプロビジョニングした Puppet トポロジコンポーネントで、プロビジョニングが失敗する

<b>ID</b>	QCCR1D208580
<b>問題</b>	/opt ディレクトリが存在しない Linux システム上で Puppet トポロジコンポーネントをプロビジョニングすると、プロビジョニングが失敗します。
<b>原因</b>	Puppet コンポーネントのプロビジョニングを行う HP 00 フローに不具合が存在します。



**回避方法**

Linux システムで/opt ディレクトリを手動で作成するか、Linux システム用のテンプレートを手動で作成してから、Puppet コンポーネントをプロビジョニングします。

## 廃止に関する注記

### サービスデザインとコンテンツパック

次に示すサービスデザインと HP Operations Orchestration コンテンツパックは廃止予定です。HP CSA 4.50 は、このコンテンツをサポートする最後のリリースとなります。このコンテンツは今後の HP CSA リリースには付属しません。CSL コンテンツインストーラーに付属のコンテンツを使用してください。CSL コンテンツインストーラーには、HP CSA のインストール後、Tools/CSLContentInstaller ディレクトリからアクセスできます。

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_ADM\_SITESCOPE\_UCMDB\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_ADM\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_CUSTOM\_PROVIDER\_SELECTION\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_DMA\_JBOSS\_SITESCOPE\_UCMDB\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_DMA\_JBOSS\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_MT\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_SITESCOPE\_UCMDB\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_SOAPV4\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_STANDALONE\_DMA\_JBOSS\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA\_BP\_MOE\_COMPUTE\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/network automation/CSA\_BP\_NA\_VIRTUAL\_NETWORK\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/openstack/CSA\_BP\_OPENSTACK\_HPCS\_COMPUTE\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_ADM\_SITESCOPE\_UCMDB\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_ADM\_v3.20.00.zip

## リリースノート

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_CASCADED\_OPTIONS\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_CUSTOM\_POOL\_SELECTION\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_DEPENDENT\_OPTIONS\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_DMA\_JBOSS\_SITESCOPE\_UCMDB\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_DMA\_JBOSS\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_DYNAMIC\_OPTIONS\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_FAILURE\_HANDLING\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_MODIFY\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_SA\_SOFTWARE\_POLICIES\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_SITESCOPE\_MODIFY\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_SITESCOPE\_UCMDB\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_STANDALONE\_DMA\_JBOSS\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/topology/amazon ec2/CSA\_BP\_AMAZON\_EC2\_INFRA\_v4.10.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/topology/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_COMPUTE\_v4.10.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/topology/vmware  
vcenter/CSA\_BP\_VCENTER\_HPSA\_LAMP\_STACK\_v4.10.00.zip

CSAKit-4.5/OO Flow Content/10X/oo10-csa-cp-4.50.0000.jar

CSAKit-4.5/OO Flow Content/9X/CSA-4\_10-ContentInstaller.jar